



INDEX

- ② 私と陸上競技  
三枝 浩基さん  
聴覚障害陸上競技選手(エイベックス)
- ③ 障害者差別解消法の施行から一年半  
—二つの差別から考える—  
川島 聡さん(岡山理科大学経営学部経営学科 准教授)
- ④ 共生を実現する、ユニバーサルマナー  
岸田 ひろ実さん(株式会社ミライロ 講師)
- ⑤ 花とアンクルンに笑顔をのせて  
認定NPO法人Present Garden to(プレゼント・ガーデントゥー)
- ⑥ 想いを抱き、歌い続ける  
山口 采希さん(シンガーソングライター)
- ⑦ ふれあいサロン
- ⑧ 情報ぷらざ

12月4日～10日は人権週間です。

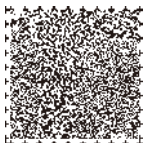
特集“障害のある人”

だれもが暮らしやすい  
社会を

ひょうご人権ジャーナル

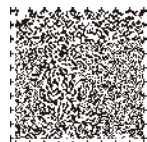
KIZUNA

# きずな



障害のある人が、自立と社会参加ができる住みよい社会づくりに向けてさまざまな取り組みが進められています。しかし、障害のある人への偏見や差別、ハード面での問題なども依然として残っています。

本号では、障害の有無にかかわらず、すべての人が自分らしく安心して暮らせる社会づくりに向けて、何ができるかを考えてみましょう。



1990(平成2)年9月28日生まれ。伊丹市出身。大阪府立生野聾学校(現・大阪府立生野聴覚支援学校)・大阪府立だいせん高等聾学校(現・大阪府立だいせん聴覚高等支援学校)卒業。エイベックス所属。専門種目100m。自己ベスト10秒95。サムスン・デフリンピック4×100mリレー金メダル(2017年)。世界ろう者陸上競技選手権大会4×100mリレー銅メダル(2016年)。

取材ノート

私と陸上競技

聴覚障害陸上競技選手  
(エイベックス)

三枝 浩基 さん

世界中の聴覚障害のアスリートが集うデフリンピック※競技大会において、陸上競技男子4×100mリレーで日本代表が41秒66で金メダルを獲得。第一走者として見事なスタートでチームを快拳に導いた三枝選手にお話を聞きました。

陸上競技を始めたきっかけは何ですか

小学一年生の頃、運動会のかっこで一番になった時から、「走るのが好き」と感じ、高校から本格的に陸上競技を始めました。

陸上競技の魅力は何ですか

短距離では、たくさん練習するのに本番は数秒の競技で、一瞬を風を切って走るのすごく快感です。スタートを失敗したらタイムが落ちるという緊張感があり、一番単純ですが一番難しい競技だと思えます。リレーでは、第一走者は走りきった後、続く選手の走りを見ることができ、歓声が一番大きくなるアンカーの背中を見ながら、「行け、行け！」と応援するのが醍醐味です。

聴覚障害陸上競技ならではの工夫はありますか

デフリンピックのルールは、オリンピックと同じルールで運営されていますが、安全性を確保するために、競技中の補聴器の使用は禁止されています。スタートの合図は音の代わりにライトの点灯で知らされます。スタートランプを見逃さないよう集中力が必要になるので、聴覚障害者用スタートアプリでトレーニングしています。

初めて大きな大会に出た時の印象は

2012(平成24)年の世界ろう者陸上競技選手権大会に初出場しましたが、その時はけがの後で、思った通りに力が発揮できませんでした。

デフリンピックで金メダルを獲った気持ちは

素直にうれしいですが、まだ世界一になったという実感はありません。やはり日本チームのバトンパスが一番美しく、上手いんだということを見ることができたので、たいへん満足しています。また、2015(平成27)年のシズンにけがでアジア大会を欠場し、半

年間リハビリを行った経験もあるため、苦労した分だけ金メダルを獲った喜びは大きいです。

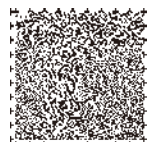
三枝さんを支えているものは何ですか

様々な面で協力していただいている所属のエイベックスの方々、陸上仲間、友人、そして食事や健康に気を遣い、応援してくれる家族です。全ての支えがなければ、最後まで成し遂げることができませんでした。これだけ多くの人に支えられていることに気づき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今後の抱負を聞かせてください

4×100mリレーは、デフリンピックでは日本人にはメダルに無縁の競技だと言われていたので、金メダルを獲得し周りの方々から「おめでとう！」と祝福され、成長した部分を皆さんに感じてもらえたと思います。4年後のデフリンピックは世界記録樹立(現在の世界記録は米国チームの41秒10)で連覇し、個人種目でもメダル獲得をめざします。

※4年に一度、世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会



# 障害者差別解消法の施行から一年半 —二つの差別から考える—

岡山理科大学経営学部経営学科  
准教授

かわしま さとし  
川島 聡 さん

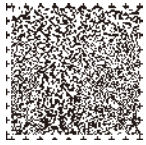


## 二つの差別

障害者差別解消法(2016(平成28)年4月施行)は、二つの差別を禁止しています。ひとつは不当な差別的取扱いです。たとえば、タクシーの運転手が、「正当な理由」がないにもかかわらず、車いすを理由に乗車を断れば、不当な差別的取扱いという差別になります。

もうひとつは合理的配慮義務の違反です。バスの運転手、学校の先生、市役所の職員などは、出入口の段差にスロープをかけたり、点字やテキストデータを提供したりするなど、合理的配慮を障害者に提供する義務を負います(民間事業者は努力義務)。運転手や職員などに「過重な負担」がないにもかかわらず合理的配慮を提  
供しなければ、差別が発生します。

障害者差別解消法



が施行されてから一年半が経ちましたが、まだまだ私たちは、さまざまな障害者問題を、これらの二つの差別から考えていく、という思考法に馴染んでいるとはいえません。私たちがこの思考法を身につけることが障害者差別の解消につながります。以下、具体的にイメージをかんてみましよう。

## それぞれの例

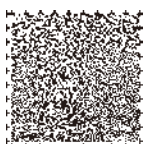
たとえば、ある教員が、他の学生たちには英語のテキストを音読させましたが、視覚障害のある学生Aさんにだけは「障害者だから」という理由で音読させなかったため、Aさんが学内で苦情を申し立てたところ、この事案で、教員は、Aさんをおもんぱかり、「合理的配慮のつもりで、そのような対応をした」と弁明しました。もともと、Aさんの意向を尊重せず、Aさんと話し合う

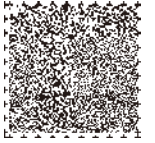
こともなく、教員独自の判断で音読させなかったのであれば、もはやそれは合理的配慮とは言えません。むしろ、障害を理由に音読させなかったのだから、不当な差別的取扱いとなる可能性があります。

次に、車いす利用者Bさんが、バスの運転手に、乗車のための合理的配慮を求めた事案を考えてみます。この事案で、バスが低床式ではなく、乗客の協力も得られず、運転手は最大限がんばったのですが、運転手一人の力では、どうしてもBさんを安全に乗車させることができませんでした。このように「過重な負担」がある状況では、合理的配慮の提供は正当化されます。また、この事案で、運転手は、車いすを理由にBさんの乗車を断っています。が、「過重な負担」という「正当な理由」があるので、そのことは不当な差別的取扱いにはなりません。

## Profile

1974(昭和49)年生まれ。新潟大学大学院現代社会文化研究科修了。博士(法学)。東京大学大学院経済学研究科特任研究員、ハーバード・ロースクール客員研究員などを経て現職。内閣府障がい者制度改革推進会議、障害者政策委員会差別禁止部会構成員(2010年-2012年)。著書に「合理的配慮」(共著、有斐閣)、「障害法」(共編著、成文堂)など。





# 共生を実現する、ユニバーサルマナー

株式会社ミライロ講師

岸田 ひろ実 さん



## 知的障害のある息子とコンビニ

私には自分自身が車いすに乗っているという視点の他に、知的障害のある息子を持つ母親の視点があります。読み書きや発話が難しい息子にも、一人でおつかいに行けるお店があります。それは自宅から歩いて5分のところにあるコンビニです。私と一緒に足繁く通っている中で、コンビニの店員さんも息子のことを覚えてくれています。

息子が中学生になった時、お金を持たないまま、こっそり一人でコンビニへ行ってしまったことがありました。持って帰ってきたのはスポーツドリンク。レジートの裏には「お金は今度で大丈夫です、またぜひ来てください」と書かれていました。後日、コンビニへ謝罪に行くと、店員の皆さんは「息子さんは喉が乾いて、私たちを頼ってくれたのですよね。嬉しかったです。いつもありがとうござい



います」と優しく声をかけてくれました。

息子がおつかいできるようになった日

次から息子は必ずお金を持ってコンビニへ行くようになり、迷っていたら店員さんの「何かお探しですか？」

という一言のおかげで、今では迷わずにジュースやパンなどの簡単なおつかいができるようになりました。もしかすると店員さんは、最初に息子を見かけた時、身構えてしまったかもしれません。

同じ障害者でも、私と同じ身体障害者は394万人ですが、息子と同じ知的障害者は74万人。圧倒的に見かける数は少ないのですから。それでも、勇気を持って一步を踏み出してくださった店員さんのおかげで、息子は地域社会に少しだけですが馴染むことができました。

## ユニバーサルマナーとは

高齢者や障害者など、自分とは違う誰かの視点に立ち、困っていたら見て見ぬふりでも、お節介のような過剰な対応でもなく、目の前にいる唯一無二の存在に「何かお手伝いできることはありませんか？」と声をか

けること。このさりげない配慮を私たちは「ユニバーサルマナー」として広めています。

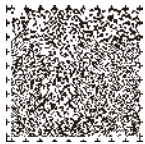
サポートを断られたら見守ることも一つのサポートです。100点満点をめざさず、常に歩み寄り姿勢、現状を変えて一步を踏み出す姿勢を一人でも多くの方が持っていたら、息子のように「できない」を「できた」に変えられるかけがえない体験が、地域社会に増えていくように感じます。

## Profile

日本ユニバーサルマナー協会理事、株式会社ミライロ講師。障害を価値に変えるバリアフリーの視点から、年間180回以上の講演、テレビ朝日「報道ステーション」のコメンテーター出演などの活動を行う。著書には「ママ、死にたいなら死んでもいいよ」(致知出版社)。

(参考)ユニバーサルマナー

<http://www.universal-manners.jp/>



アンクルン  
練習風景



Jinken Report

## 花とアンクルンに笑顔をのせて

認定NPO法人Present Garden to(プレゼント・ガーデントゥー)

認定NPO法人Present Garden to(プレゼント・ガーデントゥー)は、神戸市垂水区の住宅地の一角にある花で囲まれた就労継続支援B型の事業所※です。ここでは、20年ほど前から知的に障害のある利用者の方を対象に、園芸療法を基盤として「生きがい」や「できる喜び」を発見していく活動に取り組んでいます。

### 心身ともに健康で、生きがいを感じる園芸活動

プレゼント・ガーデンでは、知的に障害のあるメンバーが10名通所しています。園芸活動を通して、花の一生や季節の変化を知識として得るだけでなく、植物を育てるといった体験を通して生きがいや楽しさを感じながら自分の存在を確かなものにし、生きる力を育てることをめざしています。育てた花を地域の方にプレゼントしたり、近所の方の庭の手入れを手伝ったりと、コミュニケーションの場が広がっています。地域の方から「ありがたい」と言われることが、メンバーの活動の原動力になっています。また、神戸市北区の里山公園づくりにも参加し、竹林管理を中心に活動しています。竹林管理は思いのほか重労働なのですが、メンバーは回を重ねるごとにたくましく、手際よく作業を進めています。

### アンクルンによる音楽活動

アンクルンは、インドネシアの竹製民族楽器です。園芸活動の他に、みんなで歌ったり演奏したりできないかと考えたのは高野喜恵理事長。

ハンドベルのようにみんなで音を分担して演奏できるアンクルンに出会い、一年半かけて楽器を揃え、1999(平成11)年から始めました。知的に障害のあるメンバーにとっては、同じ場所に立ち続けての演奏やリズムを合わせることは容易ではありませんでしたが、「できない」と決めつけず、できるようになるまで根気強く練習を繰り返します。2003(平成15)年に第一回演奏会を行い、今年5月には、神戸文化ホール大ホールにてオーケストラの方々の演奏会を見事に成功させました。アンクルンの演奏を通して、「致し連携」「責任」を重んじることができるようになり、生活の場にも生かせるようになりました。

### メンバーの努力と周囲の寄り添いが必要

「アンクルンの演奏のみならず、障害のある人が社会に適應するためには、懸命な努力が必要です。障害のある人の努力と、周囲の人々の理解と寄り添うことの学びがあれば、だれもが安心して暮らせる社会になっていくのでは」と高野理事長は語ります。プレゼント・ガーデンは、約20年間の園芸活動とアンクルン演奏の経験を生かした地域の方々のコミュニケーションが、地域のつながり作りのきっかけになればと期待しています。

※通常の事業所に雇用されるのが難しい重度の障害がある人に対して行う就労と生産活動の機会を提供する事業所

認定NPO法人  
Present Garden to  
神戸市垂水区南多聞台1-5-11  
TEL 078-785-1516  
FAX 078-785-1539  
HP <http://www.present-g.com>

## 民生委員制度は今年で創設100周年を迎えました(児童委員制度は創設70周年)

民生委員・児童委員は、担当する地域に暮らす身近な相談相手として、地域住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に幅広く応じています。そしてその課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になります。



### 民生委員制度創設100周年記念事業

県内の民生委員・児童委員を対象に災害への備えをテーマとした「全県モニター調査」を実施し、その結果を報告書にまとめました。また、平成30年1月には民生委員制度創設100周年記念大会を開催するとともに、100周年記念誌の発行を予定しています。

ホームページ

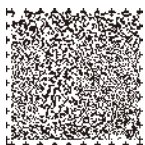
兵庫県民生委員

検索



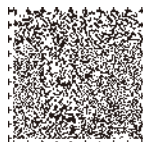
お問い合わせ先 兵庫県民生委員児童委員連合会(兵庫県社会福祉課内) TEL 078(362)3181 FAX 078(362)4264

※ご相談がある場合はお近くの民生委員・児童委員、もしくは、居住地の市役所・町役場の「民生委員・児童委員」担当まで



# きずな TOPIC

## 拉致問題 解決に向けて



取材  
ノート

### 想いを抱き、歌い続ける

シンガーソングライター

山口 采希さん  
やまぐち あやまき

山口采希さんは、大阪を拠点にシンガーソングライターとして活動を始めて7年になります。2014(平成26)年に発表した「空と海の向こう」は、北朝鮮拉致問題被害者の救出を願う歌として話題になりました。今も積極的にLIVE活動を続ける山口さんにお話を聞きました。

#### 素直な気持ちを歌で表現する

「空と海の向こう」誕生のきっかけ

「曲を作るときは、その瞬間に湧いてくる伝えたいことを、直感的に歌詞に表現していきます」と山口さんは語ります。山口さんは、ファンの方からブルーリボンバッジを貰ったのをきっかけに、拉致問題について関心を持ち、まずは調べることから始めました。拉致問題の経緯や現状、拉致被害者のご家族の気持ちを知れば知るほど、「自分に何かできないのか」を考えました。

そんなとき、「会いたいよ」という気持ちと、拉致被害者の救出を願う想いが湧き上がり、「空と海の向こう」という曲が誕生。一見、政治的な曲と見られがちですが、素直な気持ちを歌に表現したもので、拉致問題を解決したいという思いが、音楽にのって広がることを願って作ったとのこと。

歌い続けることが自分に自信を与えてくれる

本来、控えめな性格で、シンガーソングライターとして活動しながらも、なかなか自信がもてなかったと言う山口さん。そんな山口さんを変えたのが「空と海の向こう」を歌うことでした。「みんなに聞いて欲しい」という前向きな気持ちが大きくなり、「歌を歌うことが私の役割」と強い自信に変わったそうです。「拉致問題解決には、複雑で難しい問題が多いですが、純粋な想いで歌い続けたい」と、笑顔の奥に強い信念を感じさせてくれました。

#### 拉致問題解決に向けて、歌い続けたい

山口さんは、「拉致問題解決に向けては、世代を超えて多くの人が、この問題について幅広く、深く知ることが大切」と話します。「すべての人が、それぞれに役割をもって存在している。拉致被害者のご家族の悲しみに寄り添いながら、あきらめない想いや、前向きに希望を照らす気持ちを歌い続けていきたい」と今後の活動の意欲を語ってくれました。

山口さんは、これからも自分自身の純粋な気持ちを音楽にのせ、歌うことを通して、聴く人に「生きる力」や「一人一人の存在の大切さ」「感謝」を伝え続けていきます。



#### Profile

1991(平成3)年4月16日生まれ。大阪府東大阪市出身。2010(平成22)年からシンガーソングライターとして活動。未来を生きる子ども達のために、昔から大切に守られてきた宝物を、しっかりと引き継いで行きたい、がモットー。「愛と自由」をテーマに、想いの違いを超えてみんなが笑顔で手を取り合える未来を願い、祖父や祖母の影響で覚えた明治から昭和の唱歌や童謡、歌謡曲もレパートリーに入れ、活動中。11月下旬にファーストアルバム「ルックンロール・ワン」発売。

## 情報をお寄せください

兵庫県警察では、北朝鮮による「拉致被害者」の**ありもとけいこ**さんと**たなかみのる**さん、「拉致の可能性を排除できない行方不明者」に関する情報提供を求めています。

お心当たりのある方は、兵庫県警察本部外事課まで情報をお寄せください。

皆様のご協力をお願いします。

詳しくは、兵庫県警察ホームページをご覧ください。

情報提供先

兵庫県警察本部外事課

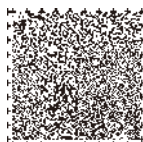
代表電話

078-341-7441

ホームページ

兵庫県警察拉致問題

検索





# 投稿&クロスワードで 「オリジナルクリアファイル」を プレゼント!



**問** A~Iの文字を順番に並べると、  
何という言葉になるでしょう?

1	2		3		4	D
5	H	6				
7				8	I	F
		9	B		C	
	10			11		12
13			14			A
15	E					

## タテのカギ

- 1 大晦日を過ごし正月を迎えること。「○○○○そば」
- 2 相手の立場や気持ちをくみ取ること。「相互の○○を深める」
- 3 朝昼夕の食事。「三度の○○より野球が好き」
- 4 三重苦を乗り越えて社会福祉事業に尽力したアメリカの女性
- 6 嬉しくて動作がはずんでいる様子。「○○○○と出かけていく」
- 10 今の世の中。「○○○の義理を果たす」
- 11 夜がまだすっきり明けきらない頃
- 12 自分より弱い立場にある人を苦しめるなどあってはならないことです
- 13 和食のごちそうの代表格
- 14 栗などの果実を包んでいるとげのたくさん生えた外皮

## ヨコのカギ

- 1 大晦日に来年のエトであるイヌに引き継ぎをします
- 3 おとぎばなし・童話を意味するドイツ語です
- 5 歯医者さんのことです
- 7 ○○○良平。兵庫県生まれの洋画家です
- 8 地中から産出されたままの赤褐色、黒褐色の石油
- 9 「陽」の反対語です
- 10 本当でないこと。「○○いつわりは申しません」
- 11 あきらめずに○○○に希望を託す
- 13 「○○こそもの上手なれ」
- 14 心の中に思い浮かべる姿・像。「○○○○チェンジ」
- 15 「きずな12月号」の特集テーマは「○○○○○のある人」です

## 10月号の答え テンタカクウマコユルアキ

### 読者からのお便り~10月号を読んで~

仕事をしていると、ノルマ等に追われ、心に余裕がなくなり  
ます。ストレスをためて心の病にかかる方、パワハラを起こす  
人、みんな心を失っています。  
自分も人もみんな命を持っています。命を大切にしましょう。  
(尼崎市 藤田 朝代さん)

日常生活ではなかなか意識しない人権について、冊子を読  
む中で、あれやこれやと考えています。人権は身近にある大  
きな問題だという考えを持ち、家族みんなで話し合ってい  
こうと思います。

(たつの市 たつの鬼平さん)



「読者からのお便り」の投稿掲  
載者(平成30年2月号)とクロス  
ワードの正解者(抽選で10名)  
に、「オリジナルクリアファイル」  
をプレゼント。本誌「きずな」へ  
のご意見やご感想、人々とのふ  
れあいを通した心温まるエピ  
ソードなどを募集しています。ど  
しどしご投稿、ご応募ください。

※掲載時はペンネームの使用も可能です。  
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代え  
させていただきます。

### 応募方法

はがき、FAX、Eメールで受け付  
け。クロスワードの答え、郵便番号・  
住所、名前(ペンネームを使用の場  
合も要併記)、電話番号、年齢、職  
業、本誌へのご意見・ご感想を明記  
の上、ご応募ください。

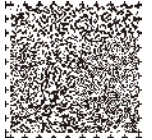
### 締め切り

1月5日(金)締め切り(必着)

### 応募先

〒650-0003  
神戸市中央区山本通4-22-15  
県立のじぎく会館内  
(公財)兵庫県人権啓発協会  
「きずな」ふれあいサロン係  
TEL 078(242)5355  
FAX 078(242)5360  
Eメール info@hyogo-jinken.or.jp

※応募者および投稿者の個人情報、管理を適切に行い、  
誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



## のじぎく文芸賞の入賞者が決定

平成29年度ののじぎく文芸賞には、1,662点(一般の部132点、学齢児童生徒の部1,530点)の応募がありました。審査の結果、右記の通り入賞者が決定しました。12月1日(金)の「人権のつどい」(13:30～兵庫県公館)で表彰式を行います。

作品の一部を本誌で紹介するほか、最優秀・優秀作品は当協会のホームページにも掲載します。

賞名	部門	部	作者名(敬称略)	作品名
最優秀賞	小説	一般	阿部 忠彦	直子。また、前が向けた傷
	随想	一般	塚口 佳子	寄り添えば、笑顔あふれて
	詩	学齢	山内 莉瑚	キグルミになりたい
	創作童話	一般	山崎 真由	ふみちゃんの木
優秀賞	小説	一般	尾崎 順子	旭町一班・姉ちゃんともぐちゃん
		学齢	鈴木 優真	君の名前はまだ呼ばない
	随想	一般	内倉 一綾	思いやる気持ち
		学齢	今西 結花	さようなら あくまのわたし
	詩	一般	榊 れもん	雨やどり
		学齢	圓山 善久	さとうさん ありがとう
創作童話	一般	田邊 和代	あ・そ・ぼ	
	学齢	山脇 愛理	ポワポワの魔法	

\*学齢=学齢児童生徒(中学生以下)



© INAC KOBE(Photo By T.INOUE)  
INAC神戸 レオネッサ



© 阪神タイガース  
HANSHIN Tigers

わたしたちも  
「人権文化をすすめる県民運動」を  
応援しています!

## EVENT GUIDE イベントガイド

### イベント名 西宮市 にしのみや人権フォーラム

日時・場所 12月9日(土) 13:30～15:00(開場13:00) プレラホール ※阪急西宮北口駅南すぐ

内容等 演題「夢をあきらめない」講師 石黒 由美子さん(北京オリンピック・シンクロ競技日本代表)  
※入場無料 ※事前申込必要(申込は下記連絡先へ) ※定員300名(先着順) ※手話通訳・要約筆記有

問い合わせ 西宮市立中央公民館 TEL 0798(67)1567 FAX 0798(67)1568

### イベント名 平成29年度 西播磨人権のつどい

日時・場所 12月16日(土)13:00～16:30(開場12:30) 相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール大ホール ※JR相生駅よりバスで約20分

内容等 1部 「人権の花」運動感謝状贈呈式 人権作文・人権書道優秀作品表彰式 最優秀人権作文の朗読  
2部 ふれ愛シネマ 「ひまわりと子犬の7日間」※入場無料 ※事前申込不要 ※手話通訳・要約筆記有

問い合わせ 相生市企画総務部 総務課総務係 TEL 0791(23)7126 FAX 0791(22)6439



ラジオ関西「谷五郎のこころにきくラジオ」(毎週月曜 10:00～15:00)で、  
14:35頃から「きずな」の記事を紹介しています。

HALF TIME



取材でPresent Garden to(プレゼント・ガーデンツアー)が取り組むアンクルン練習を見学しました。ドアを開けると、「こんにちは」と明るい声とすてきな笑顔で出迎えていただきました。当日は、次の演奏会に向けて、名曲「美しく青きドナウ」を練習しており、指揮者を見る眼差し、自分の担当の音を出すときの動作、曲を感じ取る息づかいなど、メンバーの真剣な姿に私は見とれてしまいました。演奏が終わった後、「楽しい!」と満面の笑み。

私も練習なのに思わず拍手をしていました。

障害は一つの個性であると思います。何かを習得するとき、時間も労力も必要になるかもしれませんが、できたときの喜びは大きいはず。その喜びを共有できる温かい人と人とのつながりが、安心して暮らせる社会をつくることになるのだと強く思いました。(西村)



「きずな」は、当協会ホームページからもご覧になれます。



(公財)兵庫県人権啓発協会

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内

TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360

✉ info@hyogo-jinken.or.jp

2017(平成29)年12月発行